

- 高齢者総合ケアセンター星の里 (久保町) TEL (0848) 37-7272
- ワークスさつき (美ノ郷町) TEL (0848) 48-5900
- むかいしま作業所 (向島町) TEL (0848) 44-6460
- 尾道福祉専門学校 (久保町) TEL (0848) 37-2222
- 尾道さつき作業所 (久山田町) TEL (0848) 23-8004
- 尾道サンホーム (木ノ庄町) TEL (0848) 48-4070
- すだちの家 (御調町) TEL (0848) 77-1122
- 児童発達支援センターあいあい (木ノ庄町) TEL (0848) 40-0073

8月末に、大会実行委員長の高橋貞昭氏が来所され、テーマに対する思いを熱く語って下さいました。その時に、仮装大会を冠したお菓子「仮装せんべい」作りのご提案をいただいたのです。

すだちの家では、職員有志を募って、「全国仮装大会 in おのみち 2015」に出場しました。「利用者さんと一緒に楽しめたいいな」という思いから、まずは職員が体験してその可能性を探ろうと参加を決めました。



▲仮装大会に参加してきました

## 企業との連携をめざして 手作りせんべいを通じて学ぶ

すだちの家 反田 みどり



▲せんべい焼いています



▲一つ一つ手作り

すだちの家は、「コック」さんのパンやクッキーを製造していますが、せんべい製造は経験もなく、未知の世界でした。高橋氏はそれを理解下さったうえで、手焼きせんべい焼き機一式を無償で貸与して下さいました。

新商品は、時間をかけて吟味して開発するという話を聞いていましたが、「仮装せんべい」については、開発・製造から納品まで1ヶ月を切るという早業が必要でした。機械製造会社から提供されたレシピを基に、試作を重ね何とか製品に仕上げました。

製造に至るスピード展開を通して、自らが企業を創業された経済界の重鎮である高橋氏から、「志あるところに道あり。今の時を逃がさず機敏に判断し実行する」という哲学を学ばせて頂きました。

社会福祉法人が「福祉の専門家」且つ「サービス業」であるという自覚を持って、企業経営手法を学び、広く他業種と対等に連携できる力をつけるべき時代の真っただ中にあると強く感じています。

「仮装せんべい」販売しました!



## 2016どんぐり工房カレンダー 絶賛発売中

～ありのままの感性を表現～



▲数ある作品から26作品を選定

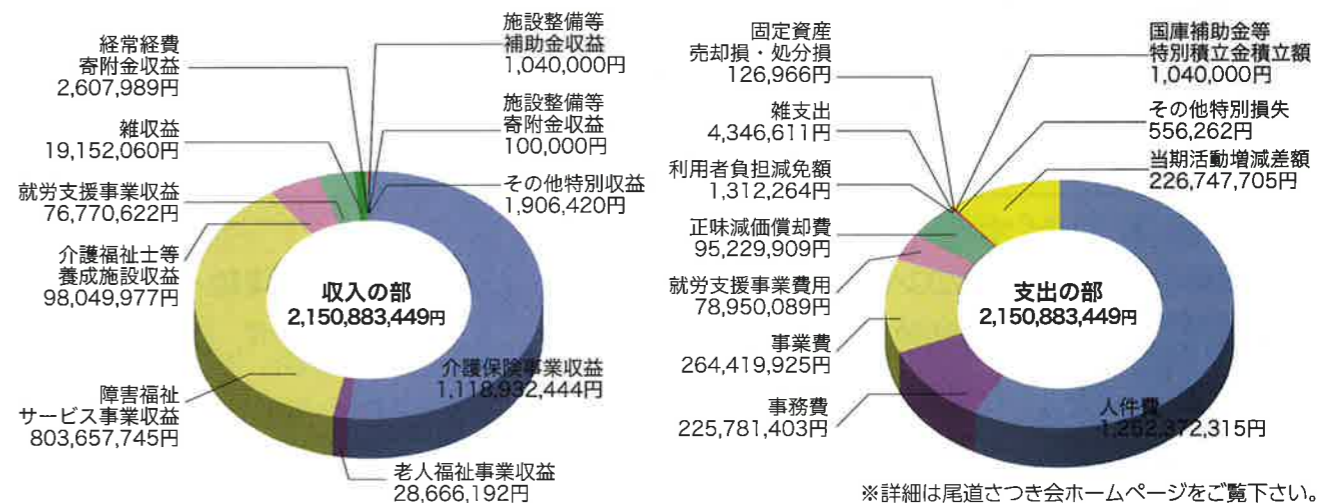
今年も尾道市立大学美術学科の協力を得て、「2016どんぐり工房カレンダー」を制作しました。今年のカレンダーのテーマは「Freedom～ありのまま～」です。尾道さつき作業所、尾道サンホーム、すだちの家、むかいしま作業所の利用者さんの作品が掲載されています。数多くの作品の中から選ばれた26作品は、いずれも自由に繊細、時には大胆に描かれ、見る人を驚かせるものばかりです。

見えやすい文字や記入しやすいメモ欄等、機能性を重視し、卓上カレンダーのセットで、税込み1,000円となっています。必要に応じて宅配や郵送も承ります。素敵なカレンダーが皆様のお手元に届く日を楽しみにしています。



▲色鮮やかな表紙に仕上がりました

### 2014年度 尾道さつき会収支状況



※詳細は尾道さつき会ホームページをご覧ください。

### 寄付者一覧

- 二〇一五年四月～二〇一五年八月・順不同 敬称略
- 〈寄付金〉末元宏茂 麻生典子 檀上寿恵雄 万福寺仏教婦人会 芦田孝子 廣谷毅 鼻孝子
  - 〈社福〉悠光会 池田敏子 山根智恵子 水戸川賢造 (株)地域総合設計 西山美智子 広昌悦社 毛利美昭 國貞峯子 平川誠 中濱正道 小西悦子 匿名希望3件
  - 〈寄付物品〉岩本光平 尹玉枝 廣安淳

### 編集後記

感染症の流行する季節になりました。新型のノロウイルスの話も聞くようになりまし。私達職員も手洗い、うがいを徹底し、皆様と元気にこのシーズンを乗り切ればと思います。

(M.O)

### 尾道ふくしむら 20周年感謝祭

日時: 11月15日(日) 10時～15時  
※小雨決行  
場所: 尾道ふくしむら多目的広場  
内容: 模擬店、ステージ、ビンゴゲーム等

シリーズ  
**福祉のしごと**  
障害児・者施設編

親子教室あいあいでは、親子のふれあいを大切に、幼児期から学齢期の豊かな発達を支援するため、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、保育所等訪問支援事業を実施しています。

**楽しさを共有できる仕事** 親子教室あいあい 仲本 梨穂

**Q1 どんな仕事をしていますか？**  
将来を見据えた支援

個々に応じた取り組みを行う療育活動などの発達支援が中心です。また、地域の関係機関や専門機関と連携し、将来を見据えた発達支援、家族支援及び地域支援を行っています。支援者として保護者の方の気持ちに寄り添い、子どもたちの楽しんでる姿や葛藤している姿を通して、一緒に成長を感じることが出来ます。

みんな大好き布ブランコ♪



**Q2 仕事をするうえで大事にしていることは何ですか？**  
たくさんの笑顔に出会えること

子どもたちが持っている力を発揮し、満足感を味わえ安心できる場所となることです。そして、わくわく・ドキドキと心が動くような活動を通し、子どもたちの「もっとやってみたい」という意欲、「自分っていいな」と思える自己肯定感、「一緒に遊びたいな」という人への信頼感が膨らんでいくことを大切にしています。

子ども、保護者の方と一緒に、心から楽しいと思える活動や遊びを共有する中で、たくさんの笑顔に出会うことを願っています。「来て良かった」「ホッとする」と思われる場所となるよう、これからも支援していきます。

お母さん、見て！  
カニがいるよ



元気塾の取り組みをくわしく  
**全国大会で発表**



▲元気塾パワーを全国に!!

おのみち元気塾 宗田 佳代

を育てていきます。そのために運動機能向上、口腔機能向上、栄養改善を3本柱とし各身体機能のメカニズムを知ること、正しい身体の使い方を身につけます。このような取り組みの結果、入塾時には杖なしでは歩行が困難だった81歳の女性が、日常生活で杖を置き忘れるくらい不要なものになりました。半年間の取り組みの中で塾生たちは楽しく笑い、励ましあい意欲の出る仲間となりました。9年間で300人となった卒業生は引き続き身近な地域の中で健康づくりの取り組みが継続できる場を求め、有志で「住民主体の運動交流の場」を立ち上げ、いきいきと活動をしています。

※おのみち元気塾は尾道市の委託を受け、介護予防(2次予防事業)の取り組みが必要と思われる65歳以上の方を対象に介護予防プランに基づいたプログラムを行っています。

10月6日、7日に全国老人福祉施設研修会が山形市で開催され、おのみち元気塾の取り組みについて発表しました。

おのみち元気塾は、65歳以上の方が対象で①自己の身体を知る②生活しやすい身体を育成する③劣化・老化をはねかえす④身体の各部位に意識を集中する⑤意欲の出る仲間をつくる。この5つのコンセプトに基づいて活動しています。高齢だからできない、高齢だから痛いではなく、自分の身体を知りしっかりと向き合う意識

コミュニケーション能力向上に力

一般就労の壁を乗り越えるために



▲色分けをしてポイントを分かり易く

利用者の皆さんは一般就労を目指し、日々作業訓練や施設外就労を重ね、作業能力や体力の向上を図っています。しかし、いざ一般就労となると作業能力や体力だけでは乗り越えられない壁にぶつかります。それが上司や同僚とのコミュニケーションです。自分の思いを相手に伝えることや相手の思いを考えられるようになることはとても重要で、職場定着には欠かせません。

そこでワークスつきでは就労支援の二環としてJSTを行っています。JSTとは、Job related Skills Trainingの略で日本語では「職場における対人技能トレーニング」と訳されます。目的は、職場の上司や同僚とうまくコミュニケーションが図れるよう、対人技能を習得することです。例えば、話している最中に人に話しかける場面を想定し、職員が悪い見本と良い見本を見せます。そして利用者さんに悪い点良い点を書き出してもらいます。その後、利用者さんにもロールプレイで実演してもらい、正しい話しかけ方を身につけてもらうといったものです。そのためには、JSTのノウハウを職員が身に付けておく必要があるため、職業センターの職員の指導のもと、JSTの考え方や進め方を学びました。また、他施設のJST学習会に参加して雰囲気を感じました。

現在、学習会を始めて2年目となります。これからも一般就労を目指す利用者さんのために、さまざまな場面を想定したJST学習会を企画し、対人技能が身に付くよう努めます。



◀ロールプレイを見て、良い点と悪い点を書きだします

学習会の風景▶

にしごサロン開催  
～高齢者を疑似体験～

星の里 にしごの家 藤井 清隆・小林 哲史

星の里・にしごの家では「にしごサロン」と題して地域交流サロンを今年度から開催しています。地域の方から「介護の話をして欲しい」「制度について知りたい」といった声があり、私達に何が出来るか考え開催に至りました。これまで認知症や成年後見制度について話をしました。

9月に開催したサロンでは、高齢者を疑似体験するセットを付け、起き上がりや階段の昇降で高齢者がどんな状況になるかを体験しました。身体が思う様に動かず「動かんがぁ」「こんなに違うんじゃね」とビックリした様子。貴重な体験への驚きの声を沢山いただきました。

次回は11月開催予定です。



▲階段昇降の難しさを疑似体験

中国電力がボランティア  
～利用者さん宅でエアコン掃除など～



星の里小規模多機能型 居宅介護事業所 長尾 浩明

在宅生活を送るにあたり、訪問介護(ヘルパー)では制度上できないことも多く、細かい部分は介護保険ではすべてをまかなえないのが現状です。

このたび、中国電力尾道営業所から地域貢献活動を行いたいとの話をいただき、星の里居宅と星の里小規模多機能の独居・高齢者世帯を対象に電球やエアコンフィルターの清掃=写真=などを依頼し、9月8日から18日の間8件のお宅で実施しました。

利用者さんは「手が届かなくて、ずっとできていなかったのでも助かった」「電球がきれいになり部屋が明るくなった」とみなさん喜んでおられました。

私たちの基本は福祉サービスの提供ですが、このような在宅高齢者の困りごとと社会資源を結びつけることも社会福祉法人の役割のひとつと考え、これからも積極的に地域に関わっていきます。